

意見

回答等

NO40の小金井てくてくマップ等の作成において、令和2年度は補助金の補助率が下がることにより増刷することがなく、在庫分を配布し、終了するような文言で、令和3年度は財源の確保ができれば、増刷するような表現になっているようですが、財源確保に向けた施策は何かあるのでしょうか。

「てくてくマップ」は市民の方から大変好評を得ているため、補助金等が活用できれば増刷したいと考えておりますが、現段階で有効な財源はないのが現状です。

がん検診の受診率向上施策

■ 5大がん検診の目標と過去3年間の受診率

	受診率目標	受診率実績		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃がん（胃部X線）	50.0%	3.4%	2.5%	2.6%
胃がん（内視鏡）	50.0%			3.1%
肺がん	50.0%	2.8%	2.1%	1.9%
大腸がん	50.0%	16.3%	14.3%	14.7%
子宮がん	50.0%	15.8%	15.7%	15.9%
乳がん	50.0%	17.8%	17.6%	17.0%

※胃がん（胃部X線）、肺がん、大腸がんの受診率

当該年度受診者数÷当該年度対象者

※胃がん（内視鏡）、子宮がん、乳がんの受診率

(前年度受診者数+当該年度受診者数)÷当該年度対象者

1 決算年度における主な取組

(1) 胃がん検診（内視鏡検査）の実施

実施期間：令和3年8月1日～令和4年2月28日

※緊急事態宣言の発令に伴い、実際は10月1日からの実施となった。

申込906名、→895名に案内発送、受診者575名

(2) 受診の利便性向上

胃がん、肺がん、大腸がん、乳がんの4がん同時受診を実施。（年間7日間）

(3) 社会的弱者への配慮の取組 177件

住民税非課税世帯の方を対象に、検診前の事前申請により「がん検診自己負担金証明書」を発行し、それを受診時に提出していただくことで無料で受診できるようにする。

2 今年度の取組

(1) 胃がん検診（内視鏡検査）の追加募集

6月1日号の市報掲載による募集に加え、10月1日号、12月1日号においても追加で募集した。

(2) 婦人科検診の啓発活動

ピンクリボン月間（10月）において、民間企業の協力により街頭での乳がん啓発用のティッシュ配りを行った。また、市内公共施設に子宮がん検診、乳がん検診の申込用紙を設置し、申込を促すような取組を行った。

(3) 社会的弱者への配慮の取組 189件（12月20日現在）

住民税非課税世帯の方を対象に、検診前の事前申請により「がん検診自己負担金証明書」を発行し、それを受診時に提出していただくことで無料で受診できるようにする。

令和4年度新型コロナウイルス感染症への対応
(令和4年12月20日現在の累計)

1 陽性者等への支援

- (1) 生活必需品配達 885件
 - (2) パルスオキシメータ貸出し 105件
 - (3) 買物支援(代行)(令和4年7月19日開始) 42件
- ※シルバー人材センター事業、11月30日現在の累計

2 市内医療機関への搬送

206件

3 抗原検査キットの配布(令和4年12月14日開始)

85件

4 新型コロナウイルスワクチン接種

	接種回数	接種率(対人口)	備考
1回目	102,504回	82.26%	1~3回目対象者には 0~11歳を含む。
2回目	102,335回	82.12%	
3回目	86,159回	69.14%	
4回目	49,790回	39.95%	
5回目	20,273回	16.27%	
OMワクチン	42,821回	34.36%	

- ・ 接種実績は、12月11日23時までのVRS登録データ
- ・ 母集団の人口データは、総務省が公表している「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」内の「【総計】令和3年住民基本台帳年齢階級別人口(市区町村別)」を利用